

令和4年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 第2回学校運営協議会概要

日 時 令和4年10月19日（水）15時～
会 場 大阪府立岸和田高等学校 会議室

学校運営協議会委員

桃山学院教育大学学長	中西 正人	様（御欠席）
岸城中学校校長	長岡 英晃	様
岸城幼稚園長	中 貴子	様
同窓会会長	新田谷 修司	様
P T A会長	竹村 太	様
元後援会会長	山路 明子	様

学校側参加者

校 長	植木 信博
教 頭	岸野 敏昌
事 務 長	中島 徹
首 席	田坂 太一
首 席	中野 健一
進路指導部長	長谷川 武央

2 次第

- (1) はじめに（司会：教頭）
本日の予定

1 校長挨拶

- ・挨拶として3点お話しさせていただく。
- ・まずは、ここまでの学校行事について話しをさせていただく。6月の文化祭は金曜日と土曜日（午前のみ）の2日開催で、土曜日は一般公開としたところ、多くの方にご来場いただいた。9月の修学旅行（北海道）では現地で新型コロナウイルス陽性者が出ないか心配したが、無事に全員一緒に帰阪することができた。9月の体育祭は保護者のみ観覧可として実施したが、生徒の取組みに対する熱心さや活発な面を見ることができ、とても盛り上がった。今後は11月に合唱コンクールを予定しており、練習も含め感染対策を行いながら実施することになっている。
- ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）、GLHS（グローバルリーダーズハイスクール）の取組みとして、夏休みには「東京方面サイエンスツアー」、「鳥類フィールドワーク」、「東京方面大学ツアー」、「GL養成プログラム（校内版）」を実施した。
- ・生徒が様々な取組みや行事に対して積極的・主体的に参加しているところは素晴らしい。文化祭で行った3年生の演劇は短い準備期間であったにもかかわらずレベルの高いものであった。一方、生徒は全体的におとなしく素直な印象である。これには良い面と悪い面があり、校長としたら、もっと逞しさを身に付けてほしいと願っている。

- ・授業見学をして感じるのは、大学受験のために学習している生徒が多いこと。高校受験においても塾で必死になって勉強し、本校に入学してきた生徒が多いのだと思う。教員は生徒が興味を持つよう工夫しながら授業を行っているのに、生徒は本質的な学ぶことの楽しさを感じることができていないように思われる。
- ・2点めは校務分掌が行う行事や取組みに関する検証について。前回の会議において、本校では様々な取組みを継続して行っているが、それぞれの取組みに対して十分な効果検証が行われないまま継続しているのではと疑問を持っていると話をした。そのこともあり、代表的な取組みについて各分掌などで検証するよう指示している。実施する目的・目標を共有すること、これまでの成果と課題を検証すること、その成果と負担について分析すること、それらを踏まえて来年度の方針案を検討することが目的である。このように現在実施している取組みについて検証し、PDCAサイクルをまわすようにしたい。
- ・3点めはリーディングGIGAハイスクールについて。府教育庁では、府立高校30校を「リーディングGIGAハイスクール」に指定し、来年度から3年間の事業を実施する。指定校には、すべての学年の普通教室に、ほぼ黒板全体に投影可能な最新型電子黒板機能付きプロジェクタ、スクリーン不要で直接プロジェクタの映像を投影でき、チョークも使用できる黒板を導入予定としている。指定校のミッションは、「電子黒板等の有効性の検証」「生徒1人1台端末の日常的な活用促進」「出席停止等により遠隔地にいる生徒へのオンライン学習支援の実施」などのほか、公開授業の開催や実践事例の発表などである。11/10応募締め切り、11月には指定校が決定される予定である。
- ・本校ではこの事業に応募したいと考えている。すでに「ゆめ基金」によりプロジェクタの寄附を募っているが、寄附いただいた予算は今回本事業では設置されない展開教室などを本事業と同等の環境とするために必要となる費用にあてたいと考えている。

2 学校運営協議委員挨拶

岸城中学校校長 長岡 英晃 様

進路について危惧していることがある。「勉強しなくても高校に行ける」という生徒がいる。将来こんな大人になりたい、こんなことをしたい、といったことが生徒から出てこない。幼い頃から自分の人生観を考えるような指導をしないといけないように感じている。

岸城幼稚園長 中 貴子 様

例年と違って城内小学校で運動会を実施した。岸和田高校とは、今年度は保育体験（家庭科）での交流だけでなく、課題研究で「マスク生活が子供たちに与える影響」を調べている生徒とも交流がある。音体部の1年生中心に幼稚園の子どもたちダンス発表会の振り付けをお願いした。

同窓会会長 新田谷 修司 様

11月21日に同窓会を実施予定。コロナ禍を心配する声もあったが、大多数が実施を希望したので実施することになっている。ゆめ基金については同窓会として色々なところに寄附を募り、すでに今年度の予定額を超えている。

P T A会長 竹村 太 様

昨日P T A社会見学（大阪大学など）を実施したところ、岸高卒の阪大生が話しをしに来てくれた。後輩に対するメッセージとして、規則正しく生活すること、目先の結果に落ち込まずやれることを着実に取り組んでいくことが大事だと言っていた。

元後援会会長 山路 明子 様

今年の体育祭を観覧した友人がとても楽しかったと言っていた。今年の冬は新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザの流行も予測されているので、よい睡眠習慣をつくるなど生活リズムを整えることによって体と心を整えるのが大事である。毎日を振り返るのが大事だと思うので、生徒さんにもお伝えいただきたい。

(2) 協 議

① スクール・ミッション（案）について（校長より）

【報告】

- ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定について話しをさせていただく。学校教育法施行規則が改正され、スクール・ポリシーを策定し公表するものとされた。スクール・ポリシーとは①育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）、②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、③入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の3つの方針からなる。
- ・スクール・ポリシーの策定にあたっては、まずスクール・ミッションを策定することになる。スクール・ミッションとは、各学校の存在意義や各学校に期待される社会的に果たすべき役割を表すものであり、今回、学校が策定したスクール・ミッション案について学校運営協議会にてご意見をいただきたい。案が付いているのは、スクール・ミッションは教育庁が策定するものであり、今回は各学校がその案を出すことになっているためである。
- ・スクール・ミッション案としてお示ししている文章を見ていただければお分かりのとおり、学校経営計画などで記述しているキーワードをベースに改めて整理したものである。特に、GLHS（グローバルリーダーズハイスクール）として生徒に育成したい「自信と誇り」、「高い志」、「チャレンジ精神」、「主体的に学ぶ」、「たくましく生き抜く力」、「リーダー」、「グローバルに活躍」などを並べている。

【質疑応答】 なし（提出について了承を得る）

② 広報関係について（首席より）

【報告】

今年度は昨年度まで実施されなかった校外での説明会が復活している。7月末に全教員に説明会への協力依頼を行い、9月以降の説明会については多くの先生に参加してもらっている。広報活動にも関心をもってもらうようにしている。

【質疑応答】 なし

③ グローバルリーダー養成プログラムについて（GL 係より）

【報告】

8月9日（火）～12日（金）の4日間、9時～15時の時間帯で実施した。80名を募集したところ90名の申込があり、そのまま90名が参加した。アンケート結果から見ると生徒の満足度は概ね高かったと言える。

（校長より）

- ・コロナ前までは海外研修を行っていたが、コロナ禍で海外研修を実施することができなくなったため、現在は校内版として、海外から日本の大学に來ている留学生をリーダーとした6～7人のグループ活動を行っている。エンパワーメントプログラムとも言われており、「ポジティブ・シンキングの重要性」、「My identity」、「自分の将来の目標」などをテーマに英語でディスカッションを行う。

- ・私からは開講の挨拶で、「英語で説明するのが難しくても、身振りや手振りを用いてなんとか伝えようとするのが大事。失敗を恐れず、チャレンジしてもらいたい。」と述べたが、生徒は頑張っただけでそのようにできていたと思う。閉講式では皆がとても満足した表情をしていたことが印象的であった。このプログラムに対しては、同窓会から約 100 万円の援助を受けている。

【質疑応答】 なし

④ 国際交流関係について (GL 係より)

【報告】

- ・10 月 29 日 (土) 日本に来ている外国人留学生と本校生が交流する。
- ・実施にあたり、同窓会に全額支援 (20 万円) していただいている。

【質疑応答】 なし

⑤ 課題研究 (探究学習) について (首席より)

【報告】

9 月の文理課題研究中間発表会について報告させていただく。先刻授業見学いただいた 1 年生のセレンディピティの続きとして 2 年生が行う課題研究の途中経過を発表するものであり、76 期生 (2 年生) が今年度行ったものである。76 期生の研究テーマは一覧の通りで、生徒の興味関心に基づいたものになっている。本校の設備では研究 (実験) が難しいものもあるが、教員側から何かを実施させるのではなく、生徒自身がやりたいと思うことを、可能な環境下で実験や研究をするもの。あくまでも研究であり調べ学習ではないので、わかっていることを調べて終わりにならないよう、教員やグループ内で話しを進めながら研究になるよう進めている。

9 月中間発表会はポスターによる発表を行った。1 月 21 日 (土) 午前の最終発表では、各ゼミの代表グループ (代表研究) が岸高ホールにて口頭発表を行い、その他の生徒・グループは教室での口頭発表か体育館でのポスター発表を行うことを予定している。

資料の二次元コードから資料を見ていただくと課題研究のことがもっとわかってもらえる。

【質疑応答】 二次元コードは保護者も見ることができるか?

【回答】

学校の HP に繋がるのでどなたでも見てもらえる。

HP には課題研究の項目があり、過去の研究についても情報を出している。

(3) 授業見学 (15:20~15:50)

(4) 新制服のご紹介

- ・コシノジュンコさんにも一度ご来校いただき、サンプル品のお披露目をしている。現在はコシノジュンコさんと制服製造業者との間で、さらに修正等の微調整をしているところである。
- ・来年度入学生から、男女とも濃紺のブレザースタイルになる。

3 今後の予定

第 3 回 2 月 15 日 (水) 15:00~

(校長より)

以下 3 点について報告させていただくので、次回もよろしくお願いします。

- ・取組みの検証にかかる今後の動きについての報告
- ・学校教育自己診断の結果報告
- ・今年度の学校経営計画について自己診断の結果も含めての報告